

## K. H. 英語英文学科・3年次

### I. 留学レポート

#### ① 協定留学を目指した理由

中学生の時に韓国に興味を持ったのが韓国語を勉強したいと思い始めたきっかけです。実際に現地で韓国の文化に触れながら韓国語を学びたいと思うようになったのは高校生のときで、同志社女子大学は韓国に協定大学があったので進学を決めました。ハングル検定などの試験を受けているうちに、もっと韓国語能力を高めたいと強く思うようになったので留学を決めました。

#### ② 留学を目指してから出願までの韓国語学習方法

韓国語の勉強は、ハングル検定や韓国語能力試験の練習問題や過去問を解いたりしながら勉強しました。また、よく見ていた韓国のテレビ番組や韓国語の歌詞で分からない単語をその都度調べて覚えるようにしました。

#### ③ 留学決定から出発までの準備期間

留学決定後もそれまでと同じように韓国語の勉強を続けました。ビザの申請手続きは、必要書類を揃えて大使館に申請に行きました。特に難しいことはありませんでした。

#### ④ 現地到着後

空港でソウル女子大学側が手配してくださったタクシーに乗り、1時間ほどで学校に到着しました。学校内にある寮に到着後、簡単に寮の説明を聞きました。その日の夜に留学生が集められ、寮についてのオリエンテーションがありました。また、別の日に授業についてなどのオリエンテーションがありました。

#### ⑤ 語学研修期間

##### ◆ 語学研修先の施設・環境について

春、秋学期は50周年記念館で語学堂の授業を受けました。この建物にはコンビニやカフェなどがあり便利でした。また、同じ建物で正規授業も受けたので移動しやすかったです。夏学期は国際教育館で授業を受けましたが、この建物は1つだけ離れたところにあり虫の多い林の中を通らないといけなく、周りにはカフェなどが何もなく少し不便でした。

##### ◆ 授業内容、課題、試験

1、2時間目は教科書を使って文法を習いました。例文を作って発表したりしました。3時間目は読解の授業でした。一度自分で文章を読んで来て、授業で分からない箇所を確認しました。4時間目は、発表やリスニングの練習など韓国語の応用を勉強しました、6級では自分たちで決めたプロジェクトを進めました。

#### ⑥ 正規科目履修期間

##### ◆ 大学の施設・環境について

正規科目は50周年記念館で授業を受けました。

#### ◆ 履修科目

##### ・ Korean Popular Culture and Korean Wave

K-POP や韓国のドラマ、韓国の伝統音楽について英語で学ぶ授業でした。K-POP について以前から興味があったので選びました。

##### ・ Korean Language and Culture

韓国の文化や習慣について英語で学ぶ授業でした。語学堂の授業と時間が被らず、英語のレベルが自分に合っている授業だったのでこれを選びました。

#### ◆ 授業、レポート、定期試験

##### ・ Korean Popular Culture and Korean Wave

動画やスライドを見ながら韓流について英語で学びました。学期の初めの方にみんなで韓国の伝統楽器の演奏を聞きに行ったので、それについてのレポートがありました。中間試験はグループ発表で、それぞれが好きな主題を選びプレゼンしました。それ以外にも2回ほどプレゼンをしました。期末試験は今まで習ったことについての筆記試験でした。

##### ・ Korean Language and Culture

教科書を使って、隣の人とディスカッションしたり、動画を見て学びました。韓国での生活で感じたことなどをレポートで提出しました。グループで韓国や他の国の文化を比較する発表をしました。中間、期末試験どちらも筆記試験でした。

#### ⑦ クラブ、課外活動、ボランティア活動

サークルには所属しませんでした。ソウル女子大学の生徒と留学生が交流できる SWU Buddy に2学期とも参加しました。ペアの韓国人の学生と食事をしたりして交流を深めました。

#### ⑧ 現地での住まい（語学研修期間、正規科目履修期間）について

正規科目履修期間は国際生活館に住みました。ここでは韓国人の学生と2人部屋で、部屋にはベッドと机とクローゼットと冷蔵庫しかなく、トイレや洗面台、シャワーなどはすべて共用でした。大体の授業は50周年記念館という建物であるのですが、そこまでは10分ほどかかりました。夏季休暇は国際生活館の隣にあるシャロムハウスの4人部屋に住みました。同室希望を出せたので、仲のいい日本人の友達たちと同じ部屋に住みました。シャロムハウスには、シャワーやトイレなどが部屋についていました。あと、勉強机がある部屋とベットの部屋が分かれていたので便利でした。

#### ⑨ 長期休暇の過ごし方

夏季の語学堂の授業があったので、休暇中も平日は毎日授業を受けていました。夏季の語学堂修了後から2学期の始業まで2週間ほどあったので、韓国で友達と遊んだり、残りの1週間は日本で過ごしました。

## ⑩ 留学期間中の就職活動の取り組み

気になることをインターネットで調べたりしましたが、特にこれといったことはしませんでした。

## II. 留学の感想

### ① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

留学中は授業や寮での生活、週末の外出など、思い出がたくさん残っていますが、一番心に残っているのは、日本人はもちろん、韓国人や中国人の大切な友達に出会えたことです。他の国の人とこんなにも仲良くなれると思っていなかったのととても嬉しかったです。遊びに行ったり、寮で出前をとったりして仲良く過ごしました。文化の違いを知り、様々なことを感じる事ができ、とてもいい思い出です。日本人の友達とは夜遅くまで誰かの部屋に集まっておしゃべりしたり、辛いことがあったときに励ましあったりできて心強かったです。

### ② 留学中でつらかったこと、最も苦勞したこと

韓国語の面で辛かったことはあまり思いつかないですが、英語の授業を受けるときに、自分の英語力の低さに悩まされました。最も苦勞したのは、食べ物です。初めの方は寮の食堂でよくご飯を食べたのですが、美味しくなく辛い物も多かったです。寮では火を使えなので自炊もできなかったのが大変でした。

### ③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

韓国では出前の文化が日本よりも発達していて、ピザ、チキン、弁当、刺身やデザートなどほとんどの料理を出前することができて便利でした。あとは、バスや地下鉄など、歩きながらや食べながら、いつでもどこでも電話をしている人が多くて驚きました。また、地下鉄やバスに乗るときに降りる人を待たずに乗ったり、列に並んでいるときに前の人との距離が近すぎたりする人が多いと感じました。

## III. 留学希望者へのアドバイス

### ① 留学先大学の良かった点、悪かった点

ソウル女子大学は都心からは少し離れたところにあり、学校の周辺にも飲食店がほとんどないですが、留学でしかできない体験ができたので、旅行では来ないような場所で生活できてよかったですと思います。遊びに出かけるときは移動時間が少しかかりますが、ソウルの地下鉄やバスについて詳しくなれました。悪かった点は、学校が遠いので点呼や閉門時間に間に合うように帰ろうとすると、早めに切り上げて学校に帰り始めないといけなかった点です。

### ② 日本から持って行って、特に役に立ったもの

パソコンは私も含め友達もみんな持ってきていました。大体の必要なものは、韓国にあるダイソーやスーパーで買いそろえることができました。日本のインスタントラーメンやお菓

子などは日本食が恋しくなった時に食べれるようにたくさん持っていきました。

### ③ 語学力の向上等、留学の成果、留学前と後で変わったこと

日本にいる間は韓国語を話す機会があまりなく、韓国語を話すことが苦手で不安でしたが、留学中は韓国語を話す機会が大きく増え、とても伸びたと思います。韓国語の単語量も増え、韓国人が使っている表現などをたくさん学ぶことができました。1つの目標でもあったTOPIKの6級にも合格することができました。韓国人はもちろん中国など他の国の人と交流する機会が多かったので、色々な文化を知ることができました。

### ④ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

留学に行く前は不安などがあると思いますが、留学は自分にとって本当に大切な素敵な経験になると思います。留学を通してたくさんの人に出会い、たくさんの方を知って、これからの人生に活かしてほしいです！頑張ってください。

## IV. 将来の目標

### ① 今後の進路、将来の目標・夢

将来は韓国や韓国語に関わる仕事に就きたいので、それに向かって頑張ろうと思います。

## V. 写真



SWU Buddyの最初の集まりで撮った写真です。私のグループは日本人、中国人、ベトナム人、韓国人と同じでした。ハンバーガーを食べながら、お話ししたりゲームをしたりしました。



国際課主催で1泊2日でワンドというところに行きました。海がきれいなところで、中国人と日本人の友達たちと撮りました。



語学堂の最後の日にパーティーをした時の写真です。みんなでお菓子を持ち寄って楽しみました。



夏の語学堂の時に行われた運動会の写真です。みんなで応援したりして楽しかったです。



仲のいい日本人の友達たちと2泊3日で釜山旅行に行きました。観光して、美味しいものをたくさん食べ、釜山の方言なども聞き、とても楽しい思い出になりました。